

♥ 献血にご協力を

【時】【所】

●松原市役所

6月23日(金)

午前10時～正午

午後1時～4時30分

※400ml献血のみ

【問】松原市社会福祉協議会

(☎333-0294)



とき	ところ
6月1日(木)	弁天苑
6月15日(木)	松寿苑
6月22日(木)	松南苑
7月4日(火)	新町福寿苑
7月5日(水)	つるかめ苑
7月20日(木)	恵寿苑
7月25日(火)	天美荘
7月27日(木)	高見苑

【時】【所】左表参照、午後1時30分～2時30分【対】60歳以上の市民【備】マスクを着用してお越しください。
【問】地域保健課

巡回健康相談

明治橋病院(三宅西1丁目)

副院長 竹嶋俊一



松原市歯科医師会

「治る認知症」があるって本当？

高齢者の場合、会話の違和感や歩きにくさ、尿失禁が起こると老化現象だから仕方がないと見過ごしてしまうことがあります。

このような症状は「治る認知症」と呼ばれる特発性正常圧水頭症(とくはつせいせいじょうあつすいとうしょう)の可能性があります。

正常圧水頭症は、頭蓋骨内の隙間で脳を保護している脳脊髄液(のうせきずいえき)が、過剰に溜まることで発症する病気です。通常、脳脊髄液は脳の中央に位置する「脳室」で毎日一定量作られ、循環し、やがて静脈などから吸収されて体内で循環しています。この脳脊髄液の循環サイクルが、何らかの理由で乱れたときに起こるのが正常圧水頭症で、原因によって3つに分けられています。

その中の特発性正常圧水頭症が、原因不明であり次第に症状が現れ、70～80代での発症が多く、認知症として扱われやすいものです。

正常圧水頭症の代表的な症状は、歩行障害、認知障害、排尿障害の3つとされており、CT・MRIなどによる画像検査で、「脳室」の拡大、頭蓋骨と脳の隙間が狭い、脳の左右にある「シルビウス裂」の拡大などがみられれば、特発性正常圧水頭症が強く疑われ、タップテストという検査で、髄液シャント術という手術の効果判定を行います。

症状が軽い早期の段階で、髄液シャント術を行うことができれば、日常生活に困らない程度まで、症状を改善することが期待できます。症状から正常圧水頭症の可能性を感じたら、できるだけ早く脳神経外科を受診してください。

みにくいアヒルの子の時代

上の前歯が生えてくるときに、ややハの字に傾いて生えてきて、前歯が少し隙っ歯になるところがあります。この状態をみにくいアヒルの子の時代と言います。



上の前歯がハの字に傾いて生えてくると自体は異常ではなく、隣の歯が生えてくときに押されて隙間がなくなります。左上の写真はみにくいアヒルの子の時代で、その数年後、奥歯まで生え変わってきたときに右上の写真です。

この間に特に矯正治療をしたわけではなく、生え変わりを待っていただけです。前歯の隙間が自然に治っているのが分かりますね。

上の前歯の間に隙間が開くことを正中離開というのですが、このように自然に治る正中離開も多くあります。前歯が離れて生えてきたからといって焦って治療する必要はありません。

ただ、正中離開にも原因がいくつかあって、単純にみにくいアヒルの子の時代なだけであることもあれば、過剰歯(余分な歯)が埋まっていたり、上唇小帯(上唇と歯茎をつなぐすじ)に異常があったり、上下の前歯のかみ合わせが悪かったり、自然に治らない場合もあります。

前歯が隙っ歯になったというときには、自然に治るものなのか、将来の歯並びやかみ合わせはどうなるのか、長期的な視点に立った診断が大切です。